



住宅火災KYT (危険予知トレーニング)

岐阜市消防本部 予防課



令和3年火災統計(管内)

(岐阜市・瑞穂市・山県市・本巣市・北方町)

火災件数 **145** 件

＜火災原因＞

第1位 「電気関係」	26件
第2位 「たき火」	19件
第3位 「たばこ」	15件
第4位 「放火・放火の疑い」	14件
第5位 「こんろ」	11件

ほとんどは人の行為や過失によるもの！

→ **人の注意により防ぐことができる**



しかし.....

病気・事故などを含めた全死者のうち

火災死者が占める割合は **0.01%[※]未満**

高齢者は火災の危険にまで

なかなか目を向けられない！



したがって...

高齢者、障がい者と接する方が、身の回りに潜む火災危険を訴えることが重要！！

※厚生労働省統計、消防庁火災統計分析や、住宅防火対策推進協議会の高齢者の GIFU CITY 実態調査研究報告書における分析等をもとに設定



火災危険を訴えるためには、まず自らが

火災原因を知って、

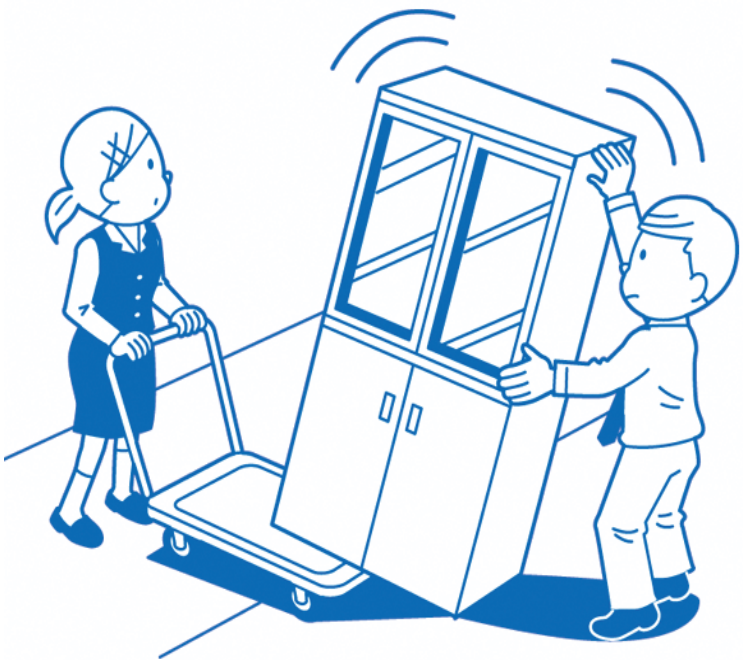
予防対策を！

それではKYTを始めます！！



危険予知トレーニング(KYT)とは？

〈 例 〉



【イラストから考えられる危険】
女性が台車を押したときに
棚が男性側に倒れる



【危険を回避するための対策】
棚は複数名で持ち上げて乗せる

危険に対する感受性を高め、危機回避能力を養う！

GIFU CITY



住宅防火KYT(危険予知トレーニング)シート 記入要領

朝 編 ⇒ 昼 編 ⇒ 夜 編
の順に進めます。

シートのイラストを見て火災危険があると思われる部分に○を付け、火災を防ぐためにはどうしたらよいかを**簡潔に**下の欄に記入してください。

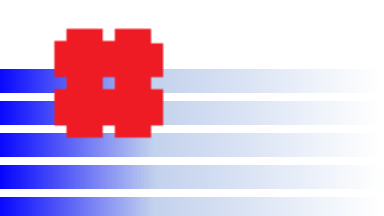
3分後に解答例をお出しします。

記入例

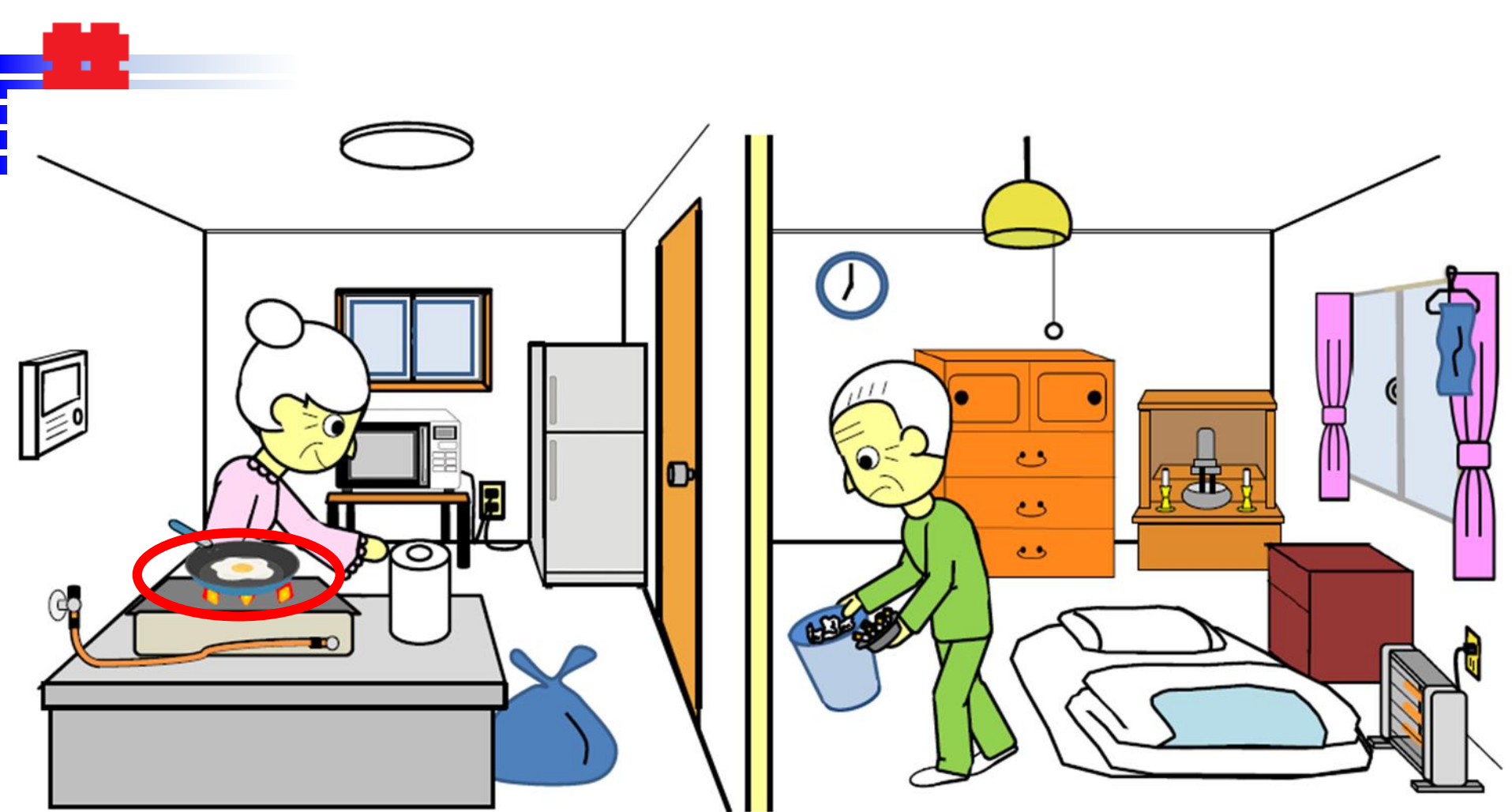
(たき火が放置されており、家に燃え移る危険がある場合)

→ たき火をする際は、火が消えるまでその場を離れない。

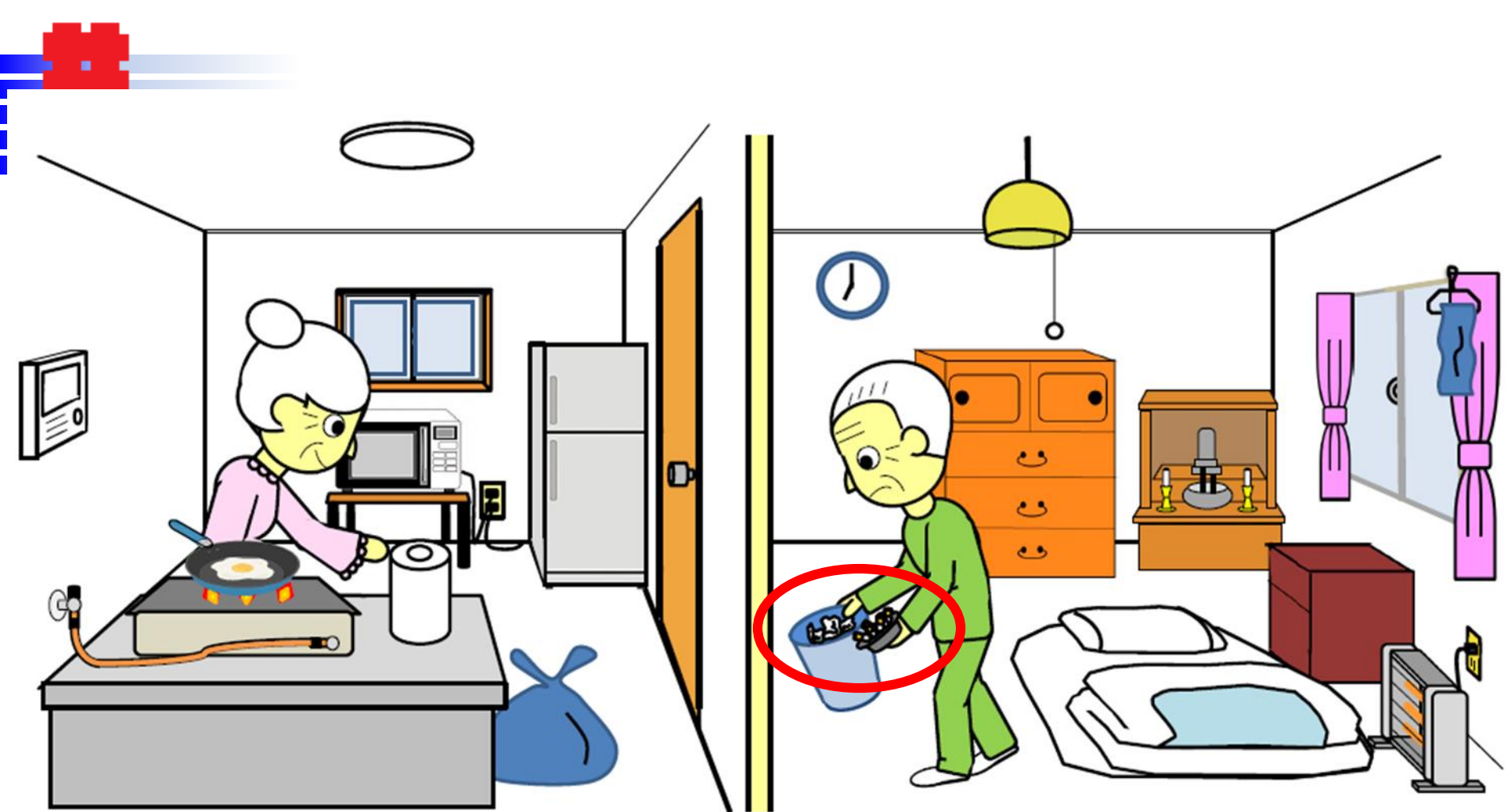
GIFU CITY



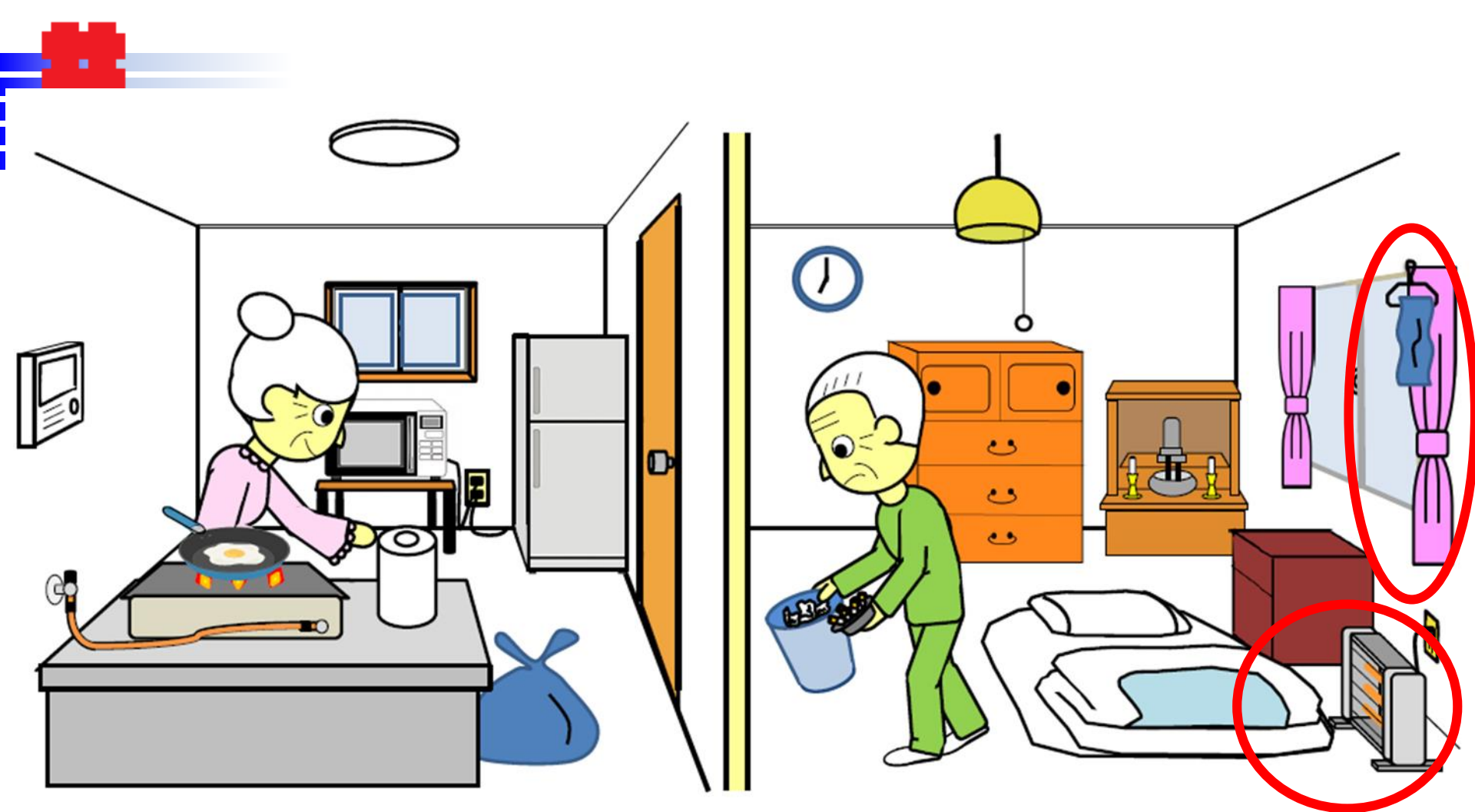
～朝 編～



- ・衣類が火に近づきすぎないように注意する。
- ・防災品のエプロン、アームを使用する。



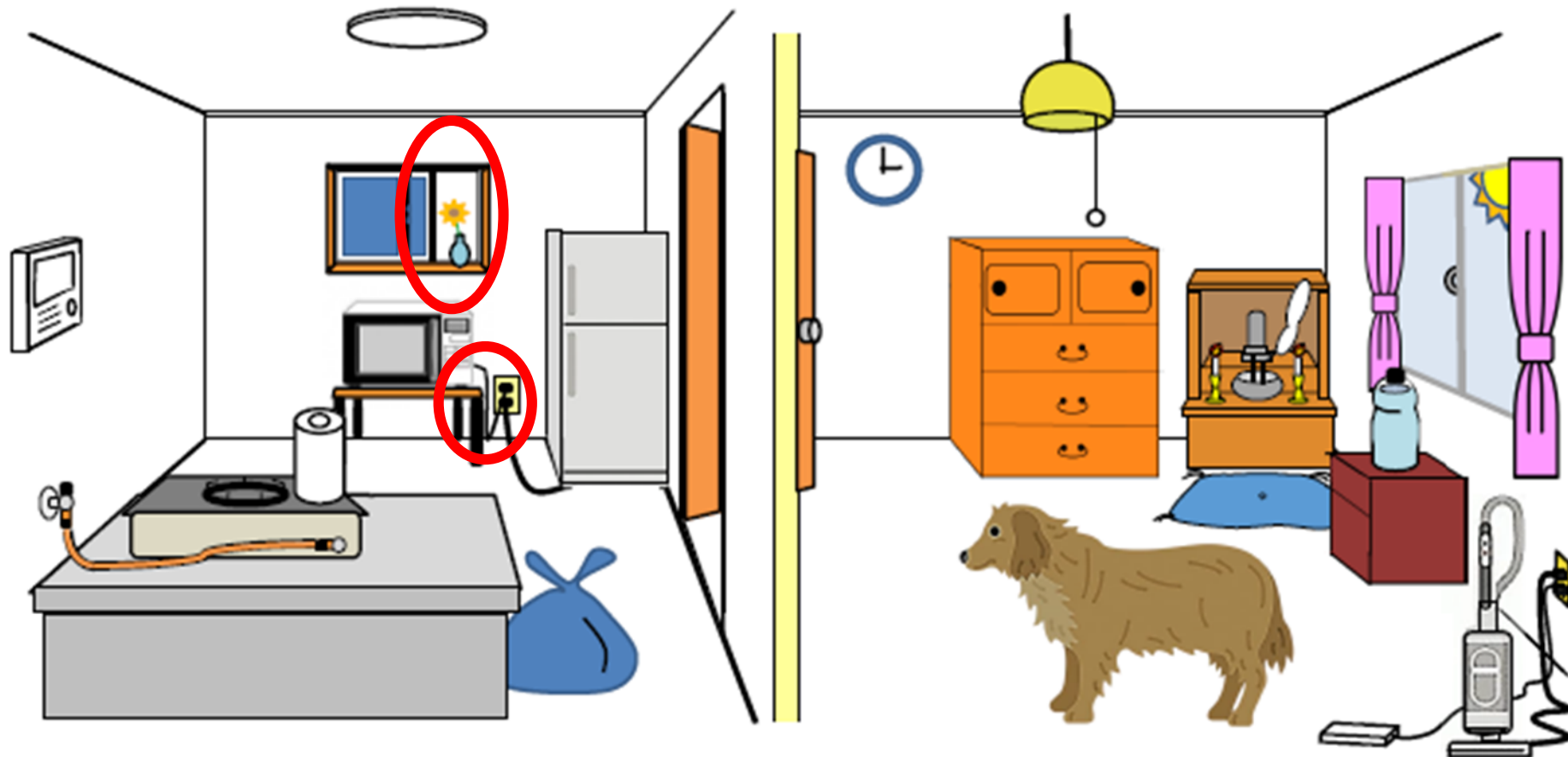
- ・たばこの吸い殻をごみ箱やごみ袋に捨てる時は水に浸してから捨てる。
- ・寝たばこの習慣をつけない。



- ・ストーブの周りには燃えやすいものを置かない。
- ・ストーブの真上に落下しやすいものを置かない。
- ・万が一に備え、カーテンは防災品を使用する。



～昼 編～ (留守中)

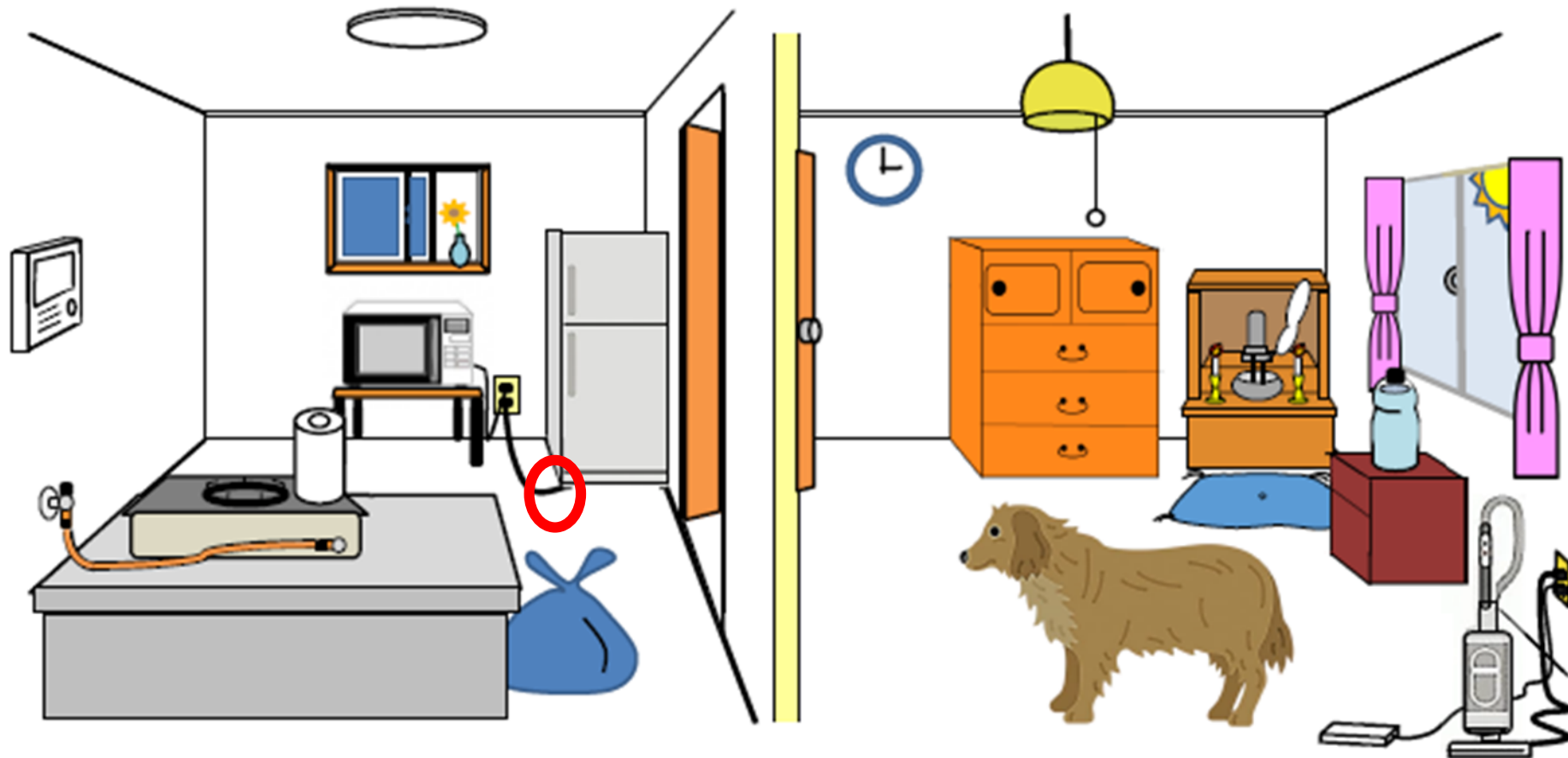


- ・コンセントの上部には水の入った容器を置かない
- ・(放火の危険性があるため)外出中は窓を開けっぱなしにしない。

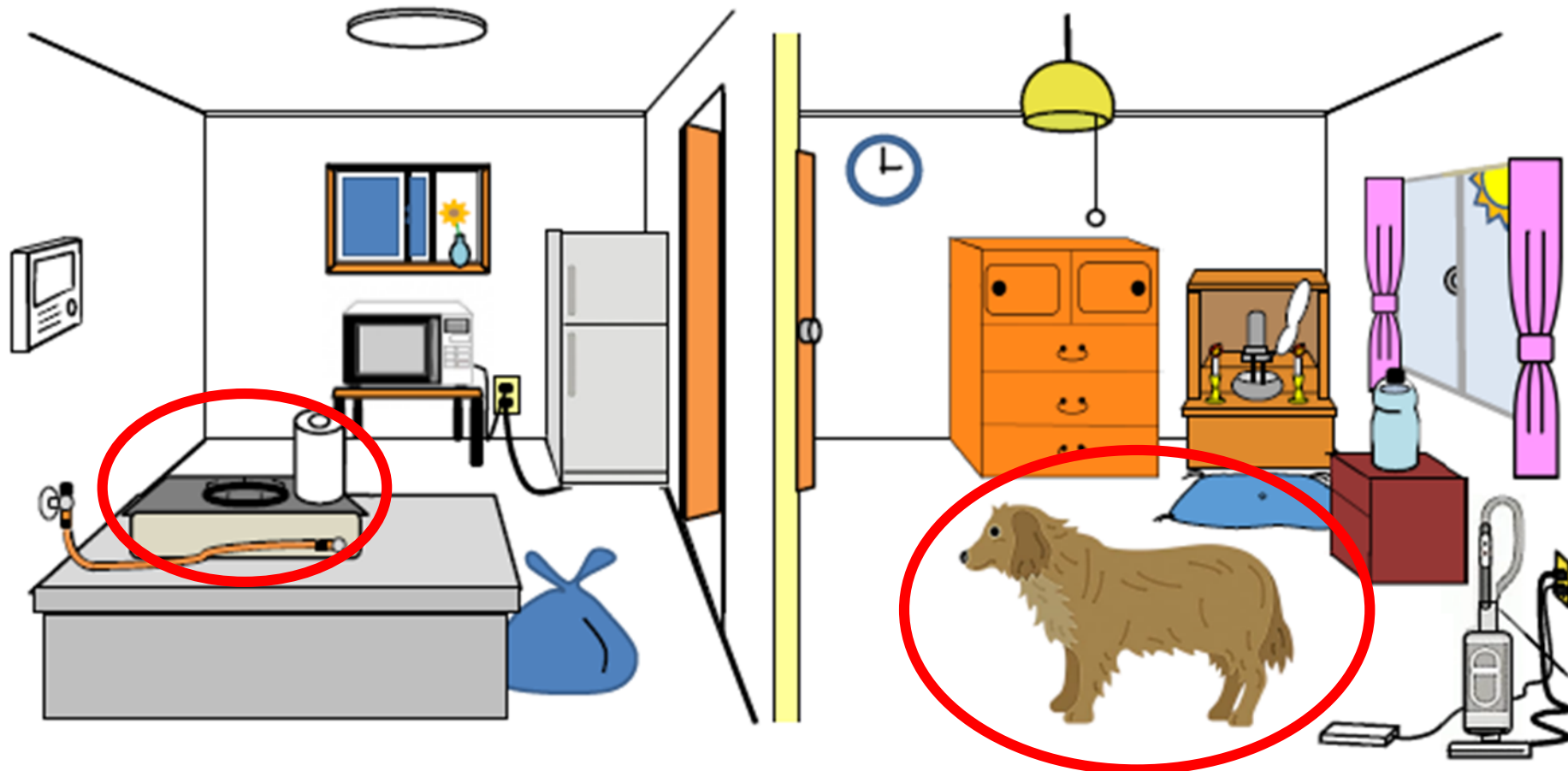


コンセントに水がかかったことが原因で発生した火災事例 (岐阜市消防本部管内)

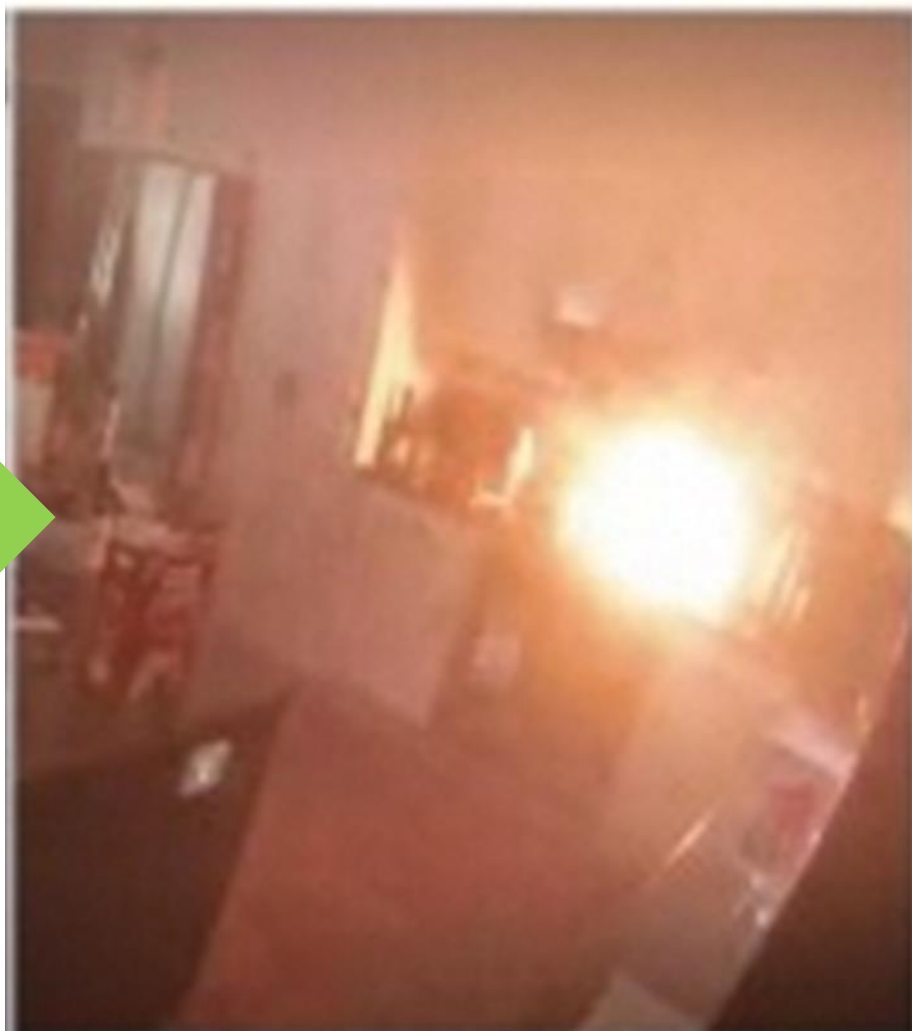




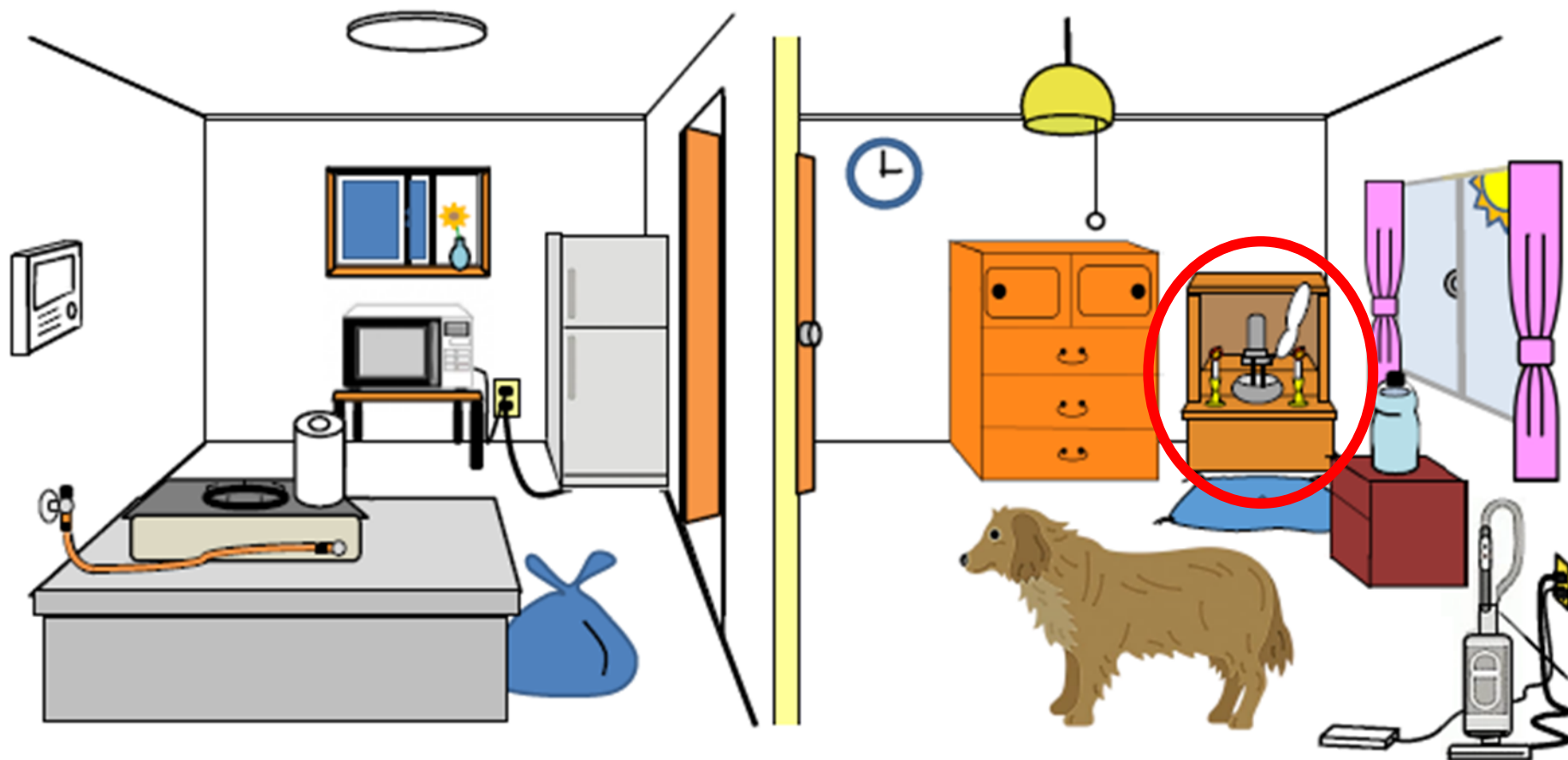
・コードには強い力を加えない。
(挟んだり引っ張ったりしない。)



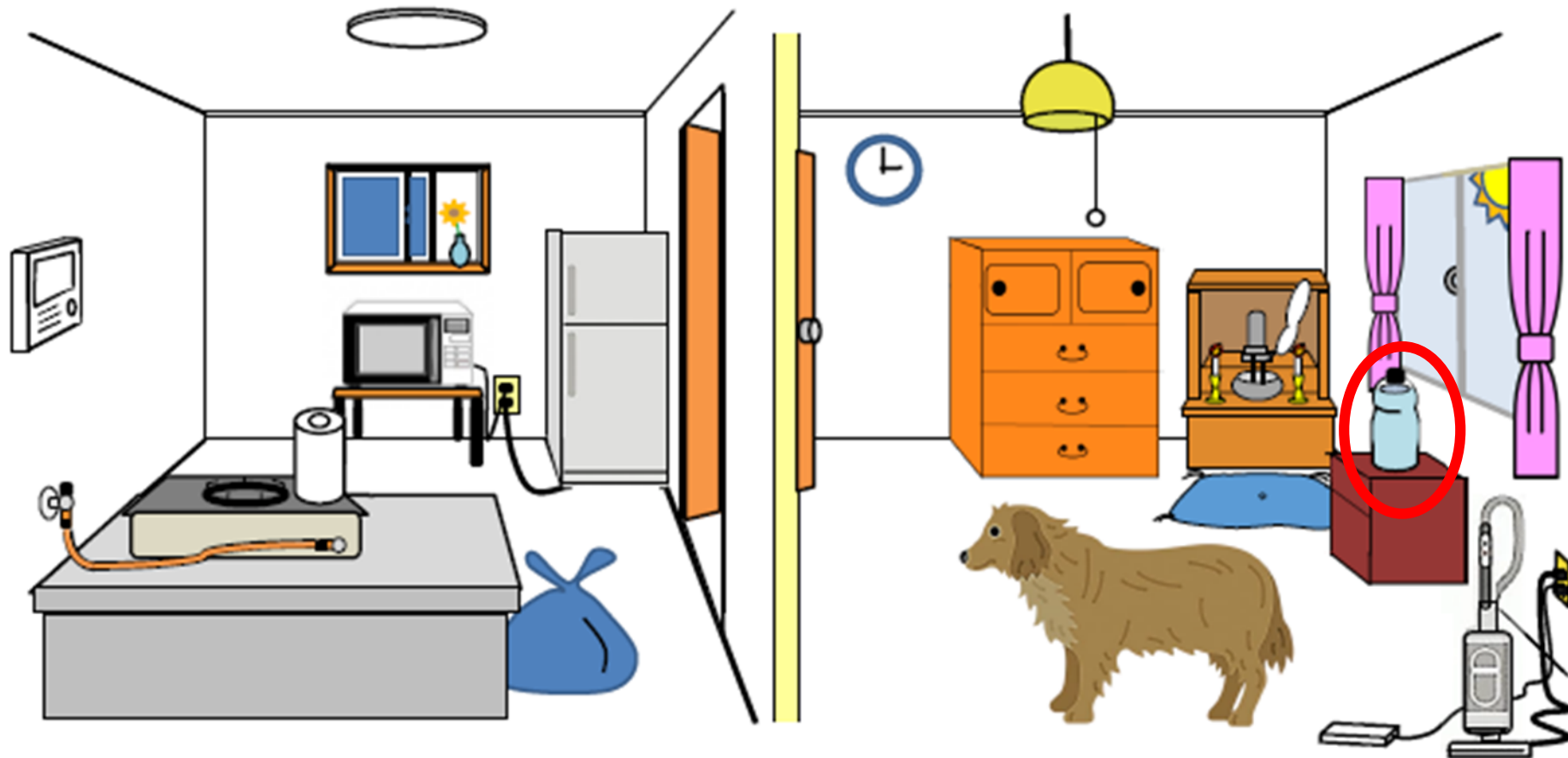
- ・ガスコンロにペットを近づけない。使用しないときはロックをするか、元栓を閉める。
- ・ガスコンロ付近には燃えやすいものを放置しない。



GIFU CITY



・仏壇を離れるときは線香・ろうそくは必ず消す。

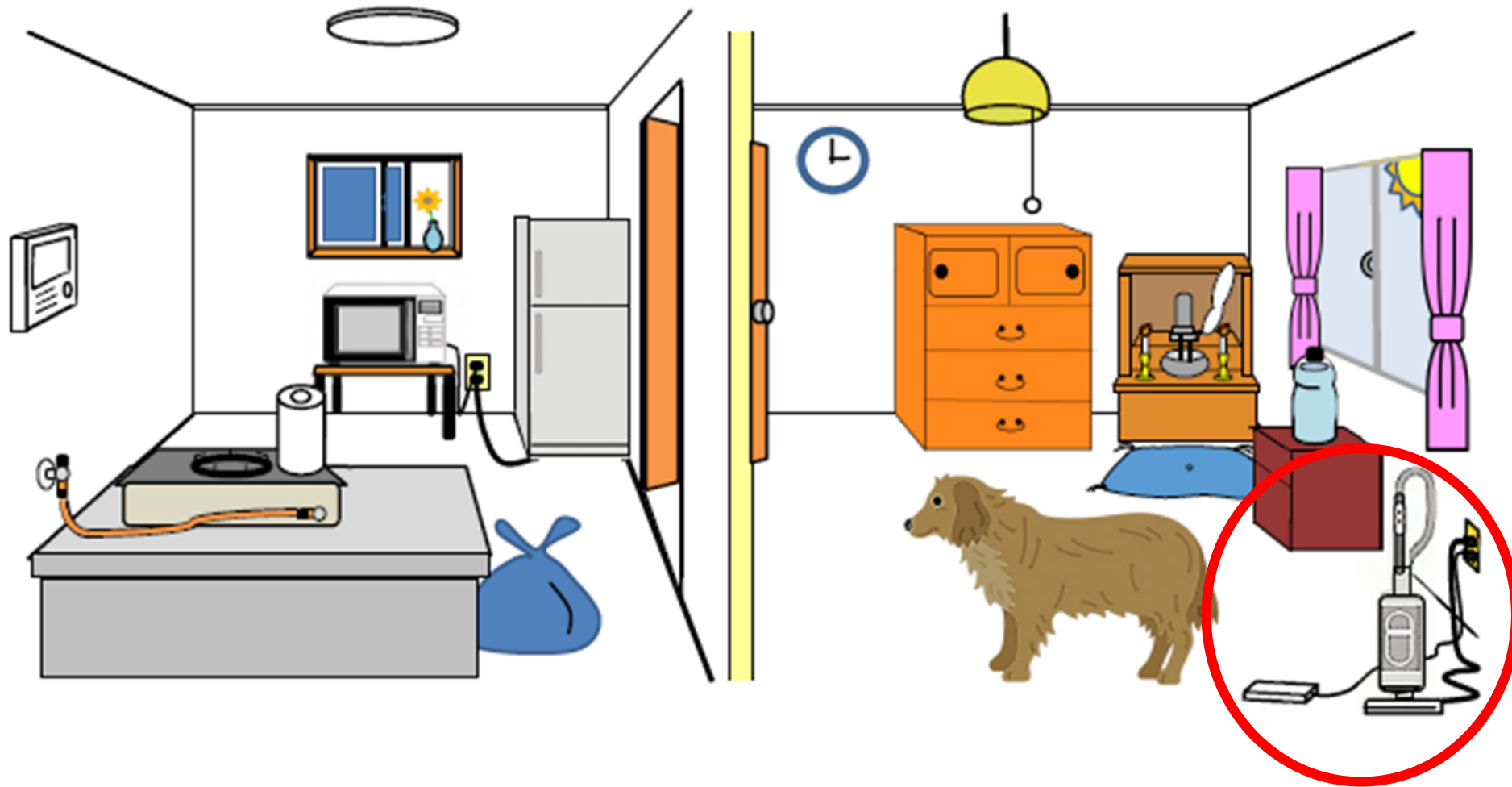


・直射日光の当たる場所に水の入ったペットボトルなどを放置しない。

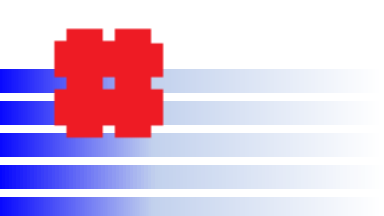


収れん火災の原因となるもの

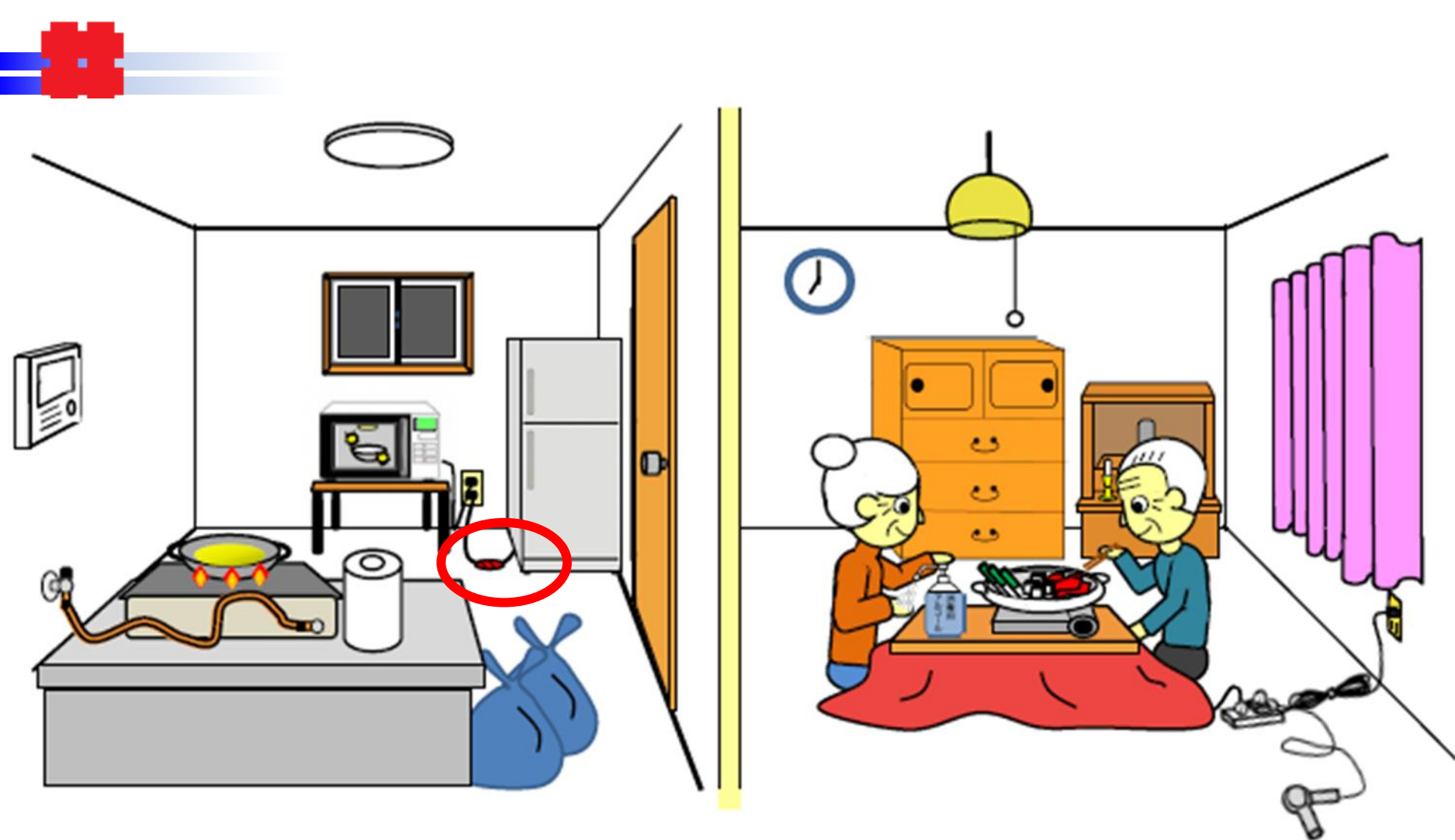
- ペットボトル(中身が入った状態)
- メガネ
- ボウル
- 凹面鏡



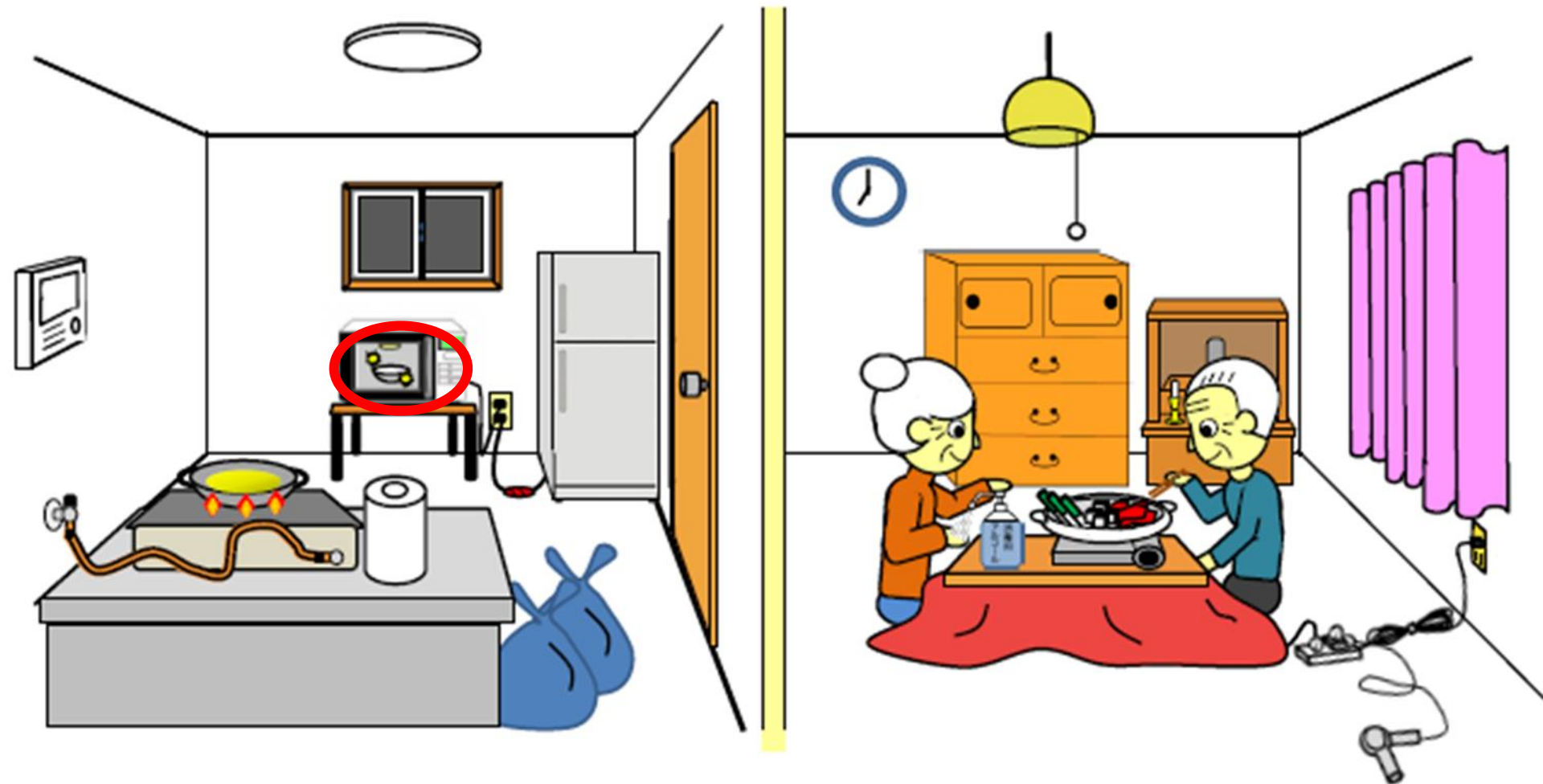
GIFU CITY



～夜 編～



・修理は専門業者に依頼し、素人工事は行わない。



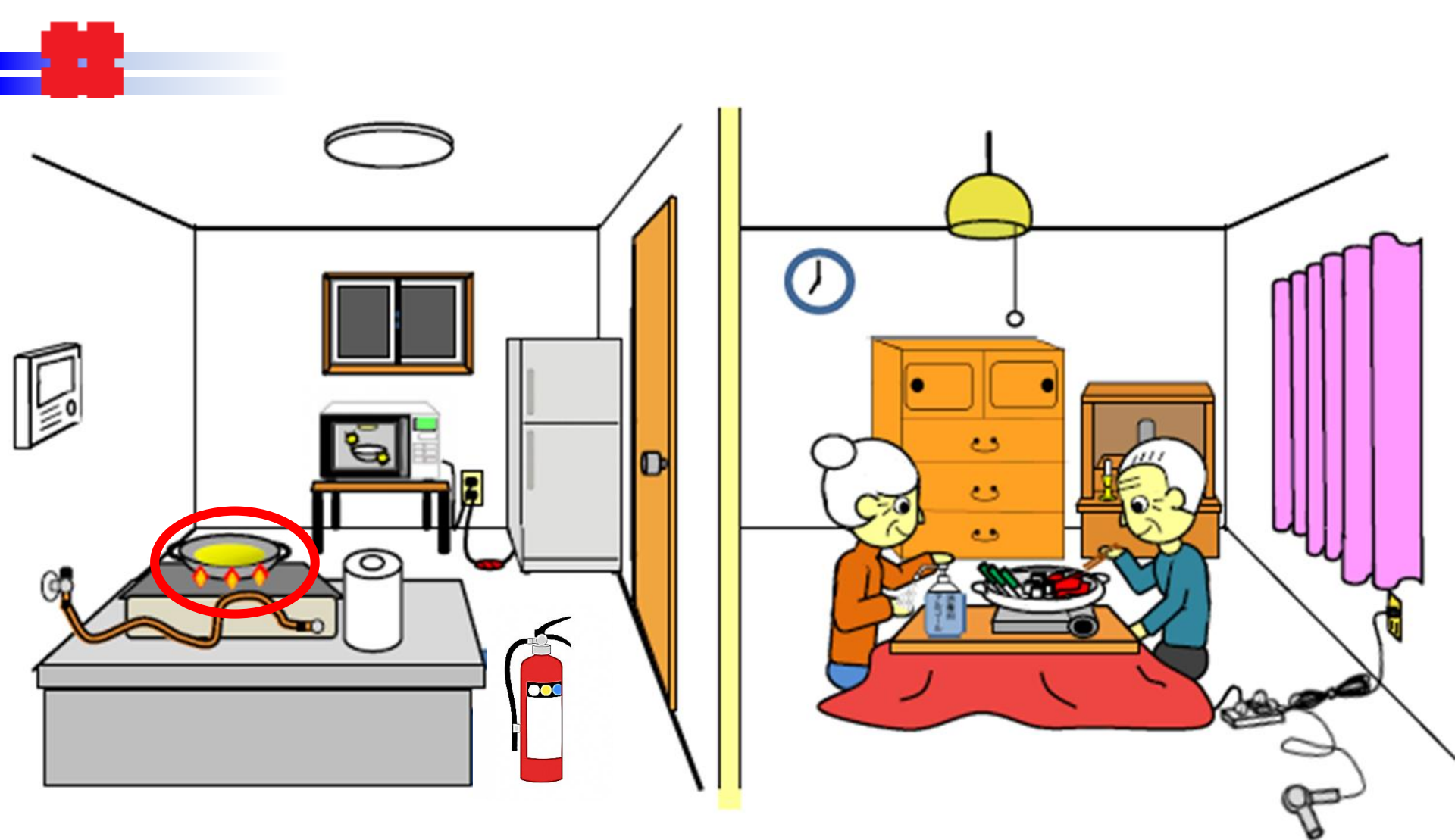
- ・容器の表示内容を確認し、電子レンジに使用できるかを確認する。
- ・加熱のし過ぎに注意し、調理中はその場を離れない。



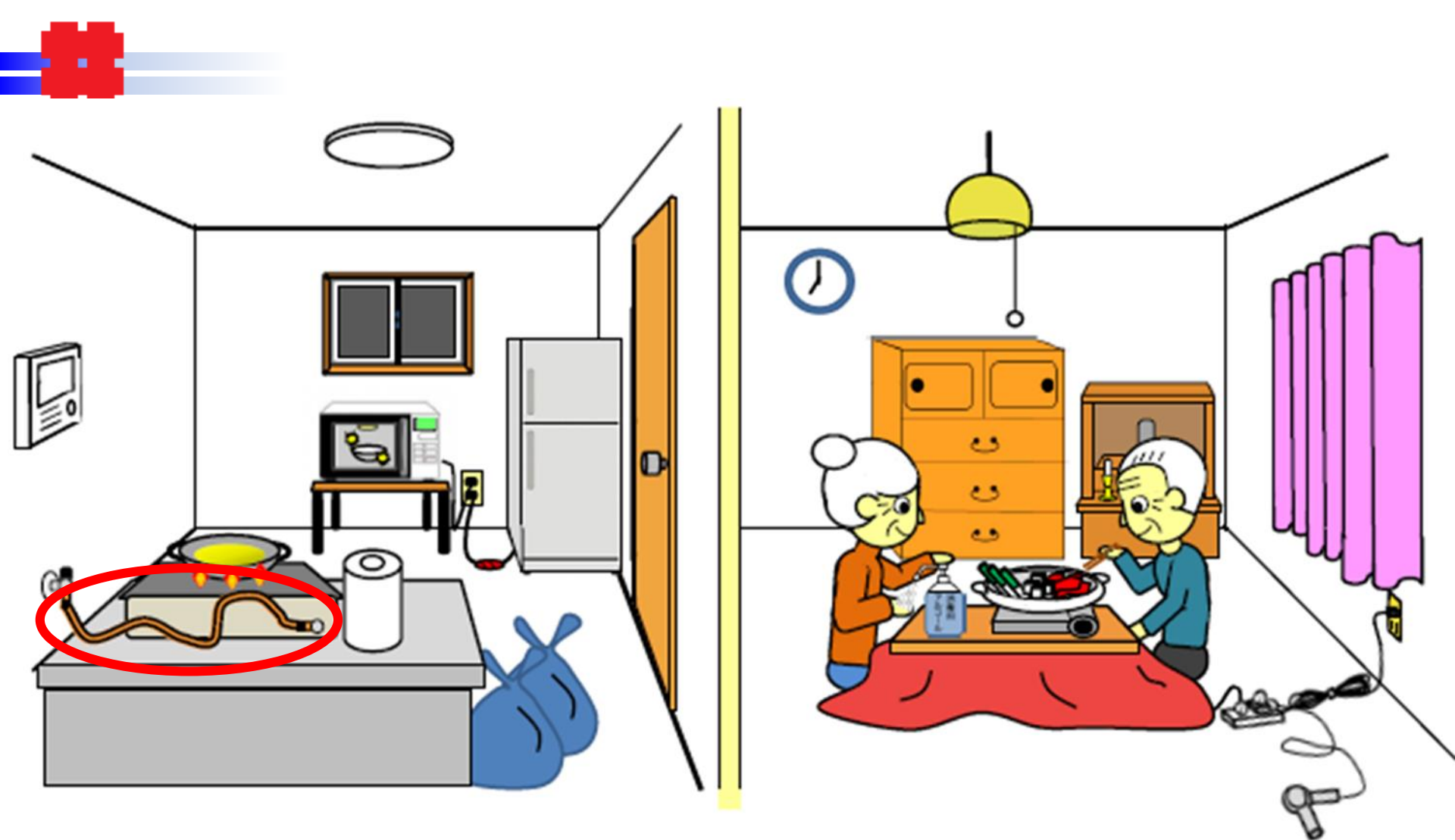
加熱のし過ぎにも注意！！

電子レンジで爆発的に燃焼した食品（例）

食品の種類	質量	時間
焼き芋	120g	6分26秒
生のサツマイモ	170g	11分30秒
肉まん	90g	5分34秒
あんまん	110g	7分37秒



- ・こんろを使用する際はその場を離れない。
- ・万が一に備え、消火器を常備しておく。

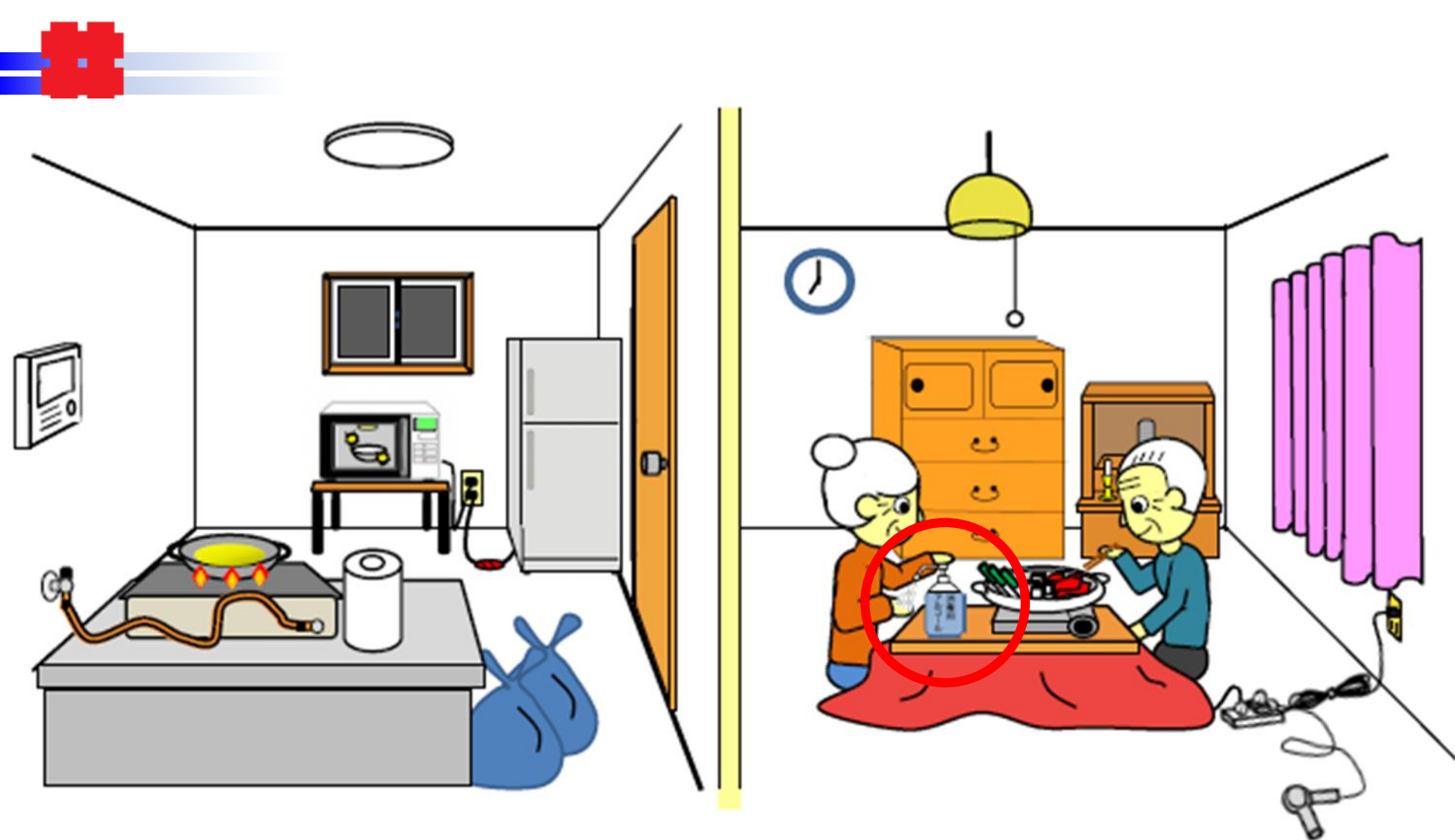


・ガスホースは炎の熱を受けないように取り回しをする。

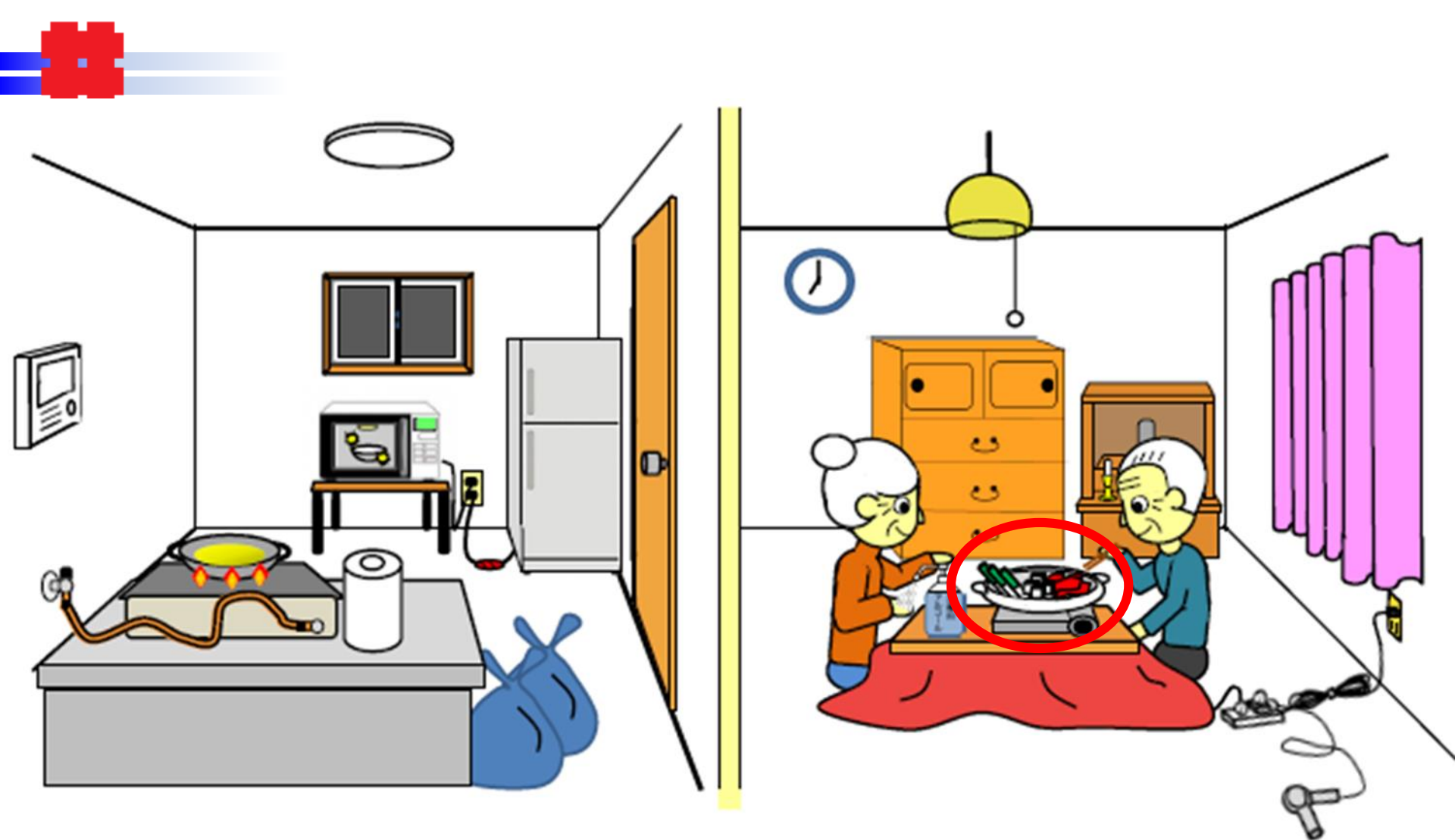


ガスホースとガステーブルとの距離が 近すぎたことが原因で発生した火災事例 (岐阜市消防本部管内)

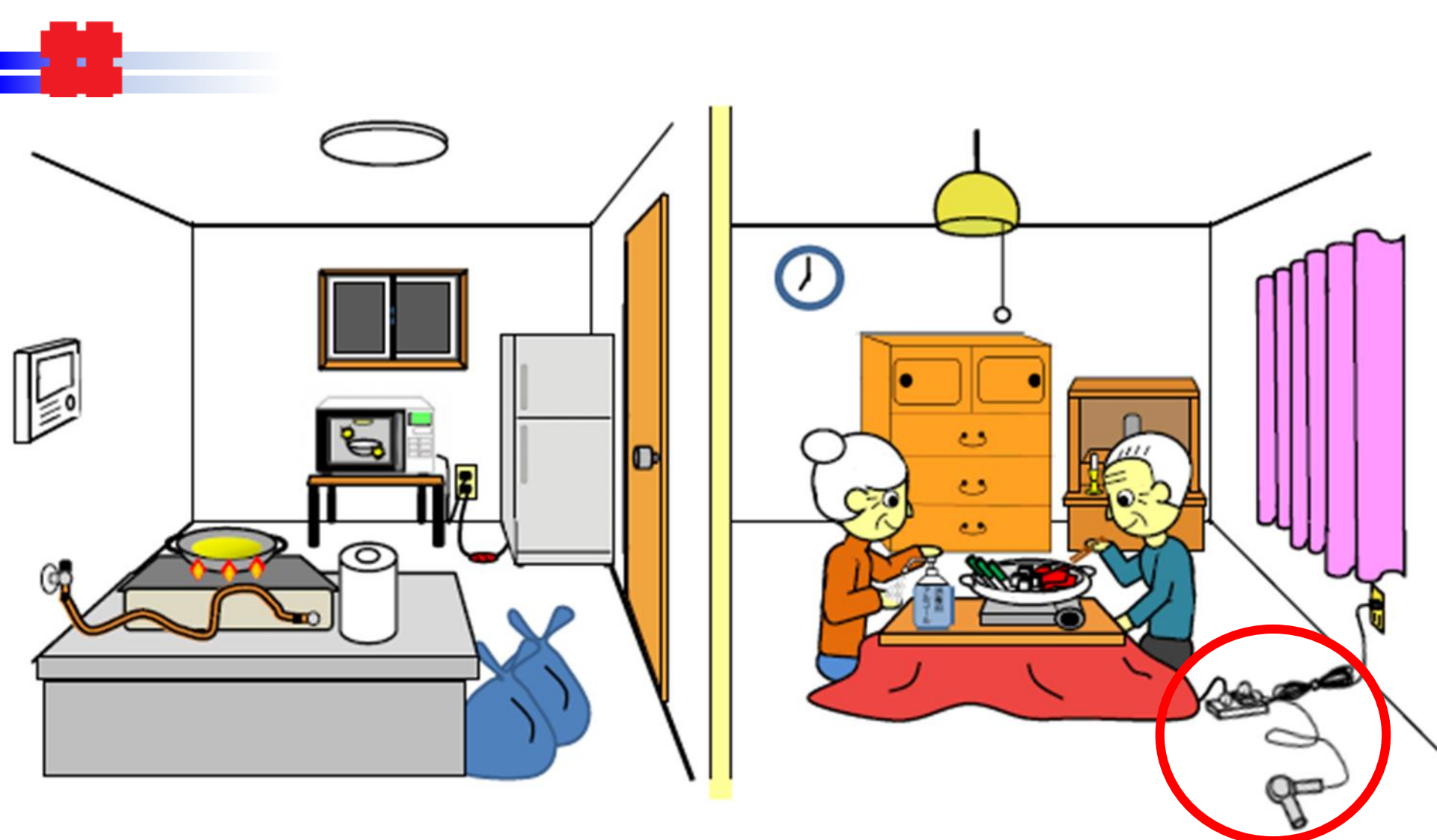




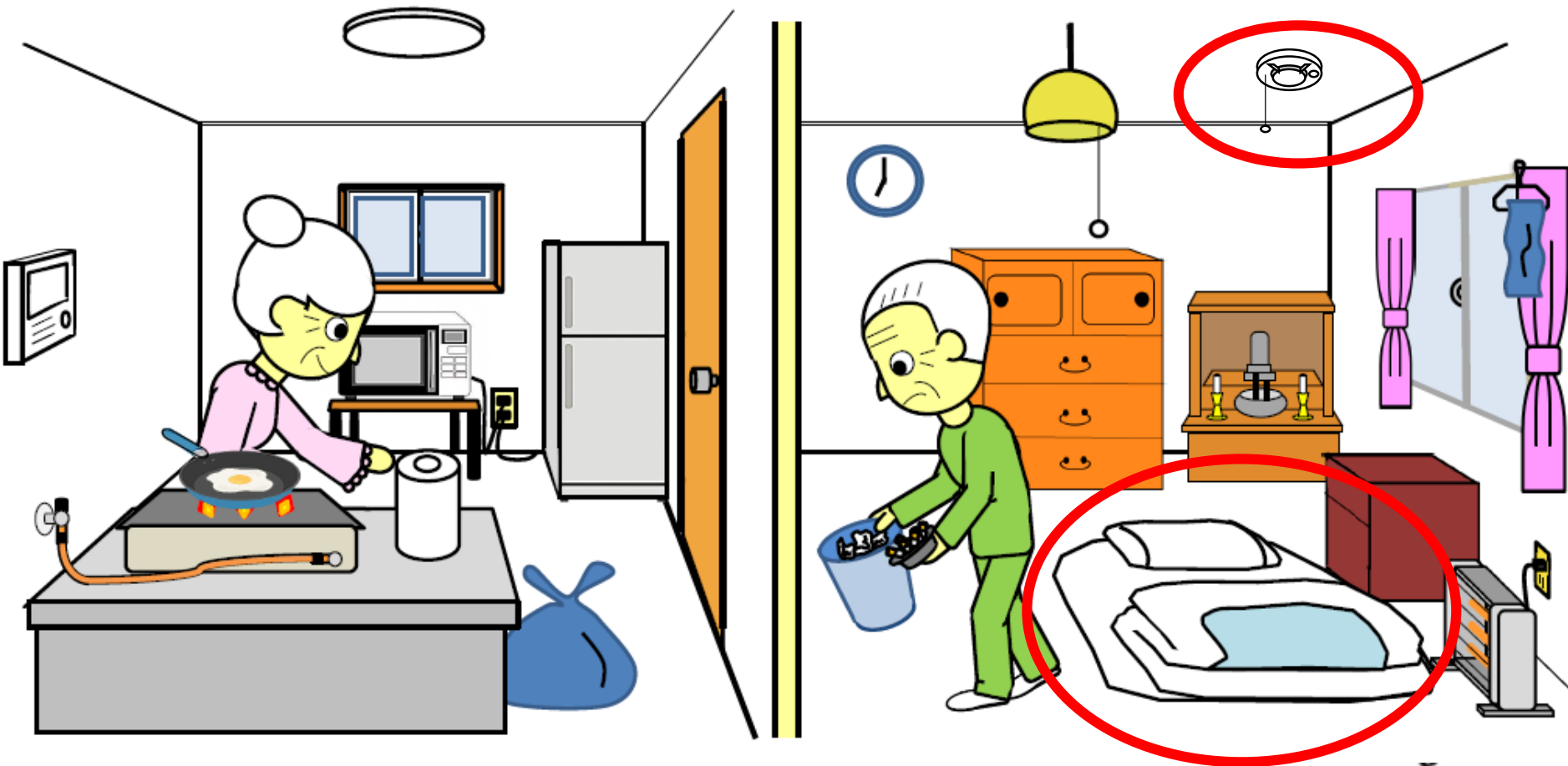
・火気の近くで消毒用アルコールを使用しない。



・ガスボンベの容器カバーにかからない大きさの鍋を使用する。(爆発の危険があるため。)



- ・延長コードの許容電流以上の電気を同時に使用しない。
- ・コードを束ねない。



何か足りない……

GIFU CITY



住宅用火災警報器の設置**義務化**

新築住宅 平成18年～ 既存住宅 平成23年～

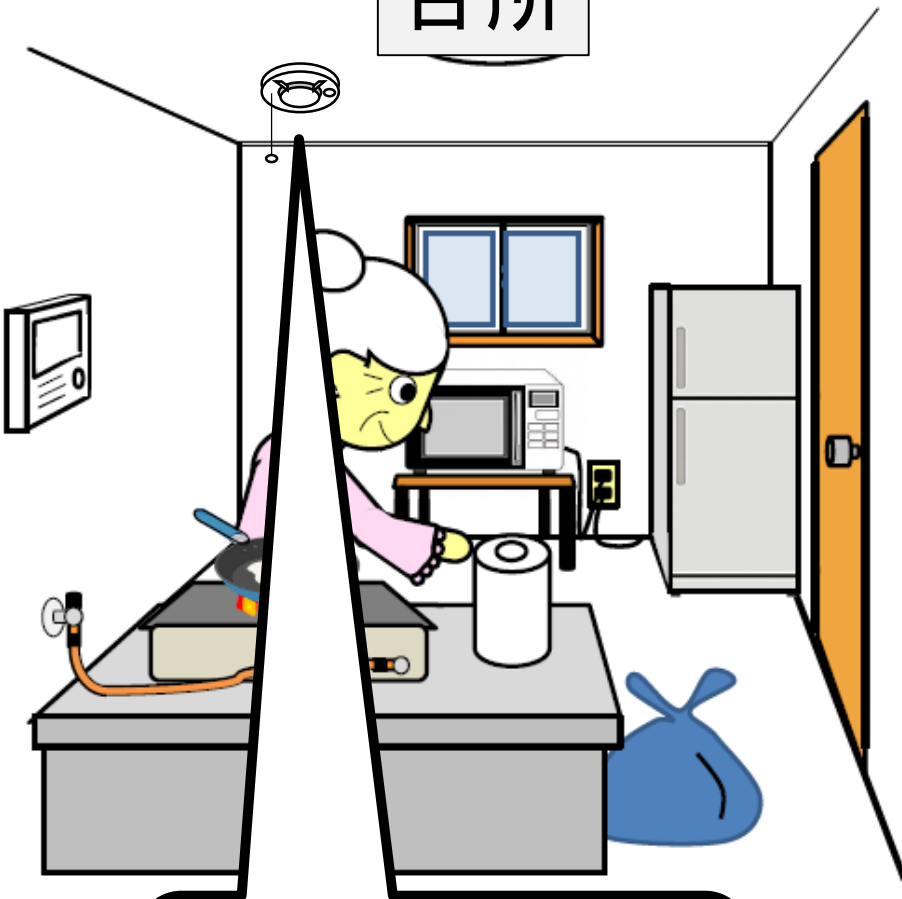
寝ている時の逃げ遅れを防ぐため・・・

【主な義務設置場所】

寝室 **階段** (寝室が2階以上の場合)

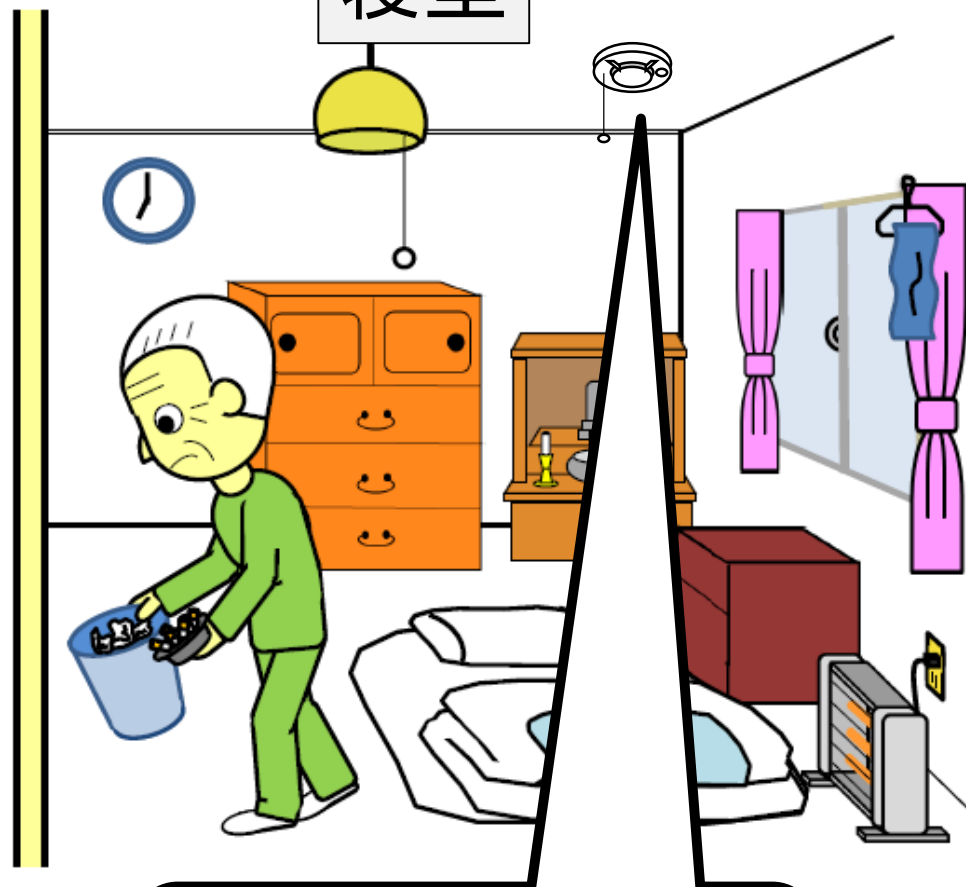


台所



義務はないが
設置しておく心安心

寝室



火災予防条例により
設置義務あり



設置後の維持管理も忘れずに！！

半年に一度の点検



点検ボタンを押すか、ひもを引っ張り作動確認をしましょう。
本体に反応がなければ、電池切れか故障です。すぐに交換
しましょう。

10年を目安に機器交換

電池の寿命の目安は10年とされています。また、内部の電子
部品が劣化して火災を感知しなくなることが考えられます。

GIFU CITY

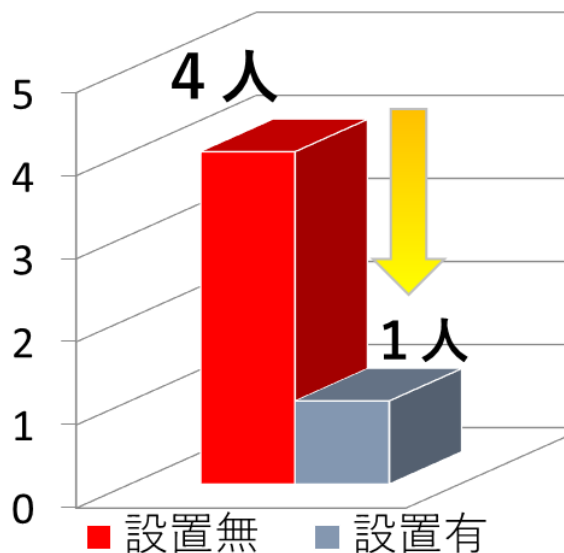


住宅用火災警報器は効果抜群

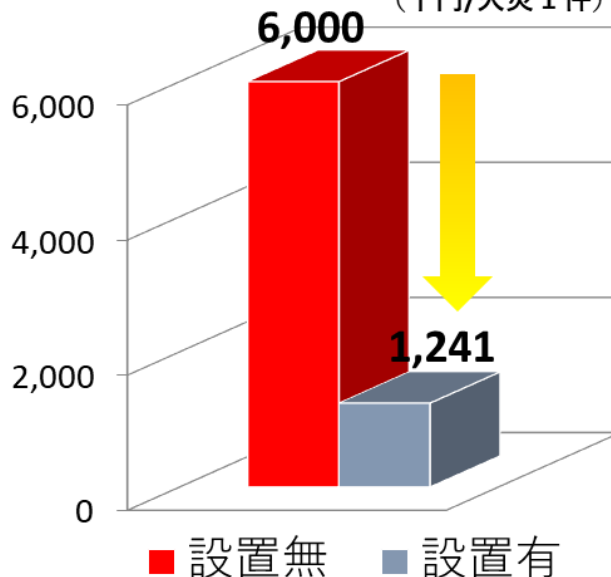


岐阜市消防本部管内の令和3年中の住宅火災56件
住宅用火災警報器の有無による被害状況を比較

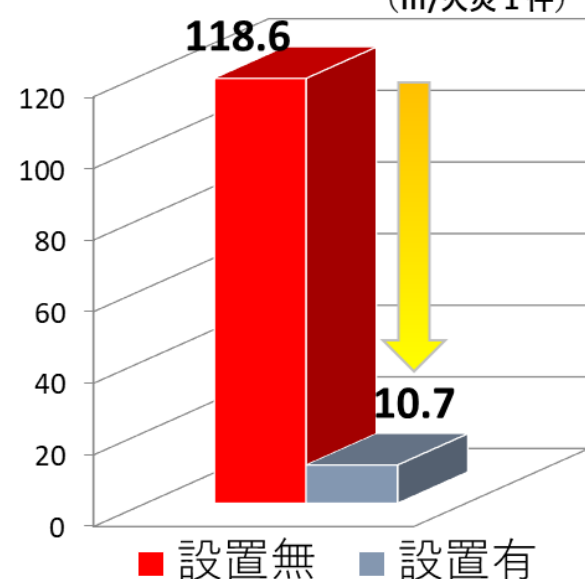
< 住宅火災の死者数 >



< 損害額 >
(千円/火災1件)



< 焼損床面積 >
(㎡/火災1件)



「設置有」が大幅に被害が少ない！！
火災を未然に防いだ事例も多くあります。



以上で住宅火災KYTを終了します。
お疲れさまでした。

解答例は岐阜市ホームページに掲載してあります。
「岐阜市 KYT」で検索してみてください。





整理整頓が防火の秘訣

「周りの可燃物に火がついた。」

「 // に燃え広がった。」

「放置していた可燃物に火をつけられた。」



出火、延焼拡大を防ぐためには、

「燃えやすいものを散らかさない」

「 // 放置しない」



ホームページをご覧ください

火災予防に関する情報を掲載しています。

<掲載先>

岐阜市ホームページ

- 組織別索引 → 消防本部
- 予防課 → 生活安心情報(火災予防情報)
- 火災予防に関する情報



リーフレット（ホームページに掲載）

電気火災に注意！

～電気を正しく安全に使って火災を防ぎましょう～

岐阜市消防本部

私たちの暮らしに欠かせない電気も、使い方を誤ると火災につながってしまいます。
電気の使い方や電気火災の内容を理解して、電気火災を防ぎましょう。

■主な電気火災の内容■

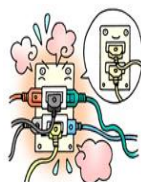
・過電流（たこ足配線はやめて許容電流に注意！）

コンセントや延長コード（テーブルタップ）には定格容量（許容電流）が決まっています。（一般的には15A・1500W）

たこ足配線などにより、一度に多くの電気機器を使用し続けると、定格を超えた過電流が流れ、発熱して出火する恐れがあります。また、コンセントへの差込数が少なくても、定格を超えると危険です。

【例】電子レンジ（1300W）とオーブントースター（700W）を同時に使用する。

⇒電気機器の消費電力やコンセントや延長コードの許容電流を確認し、定格容量内で使用しましょう。



・トラッキング（コンセントのほこりと湿気に注意！）

プラグをコンセントに差し込んだ状態で、ほこりや湿気がたまったまま放置しておくと、トラッキング現象が起こり、出火する恐れがあります。

⇒プラグは定期的に乾いた布などで掃除しましょう。（手の届きにくい部分も忘れずに。）また、プラグに水がかかったり、湿気がついたりしないように気をつけましょう。



【トラッキング現象とは】プラグとコンセントの間にたまったほこりに湿気や水分がかかると、小さな火花放電がくり返され、絶縁物（プラグやコンセントのプラスチック部分など）が炭化し、そこに電気の通り道（トラック）ができて大電流が流れ、出火してしまう恐れがあります。

・接触部過熱（コンセントのゆるみやプラグのぐらつきに注意！）

配線または電気機器の接続部がゆるむと接触抵抗が増加することにより発熱し出火する恐れがあります。また、プラグの差込みが不十分な場合にも、プラグがはずれかけて接触抵抗が増加し発熱する恐れがあるので、プラグはしっかりとコンセントに差し込みましょう。

【例】コンセント差込口にゆるみがある、差し込んだプラグがぐらつく、分電盤の配線接続部にゆるみがあるなど



・半断線（コードのひっぱり、折れ、挟み込みに注意！）

コードや配線がひっぱられたり、折れたり、踏まれたり、挟まれたりすることにより、配線の何割かが切断状態（半断線）になり、その部分が発熱し出火する恐れがあります。

【例】配線が家具に挟まれたり、釘などで配線を強く固定したことにより出火する。



放火に注意！！

不審火が増加しています！

岐阜市消防本部

不審火（放火・放火の疑い）による火災は、人目につきにくい時間帯、場所で多く発生しています。一人ひとりはもちろん、地域全体で放火されにくい環境を作り、放火火災を防ぎましょう。

□ 放火を防ぐ対策 □

- 1 家の周りに燃えやすいものを放置しない。
- 2 資源分別やゴミは夜に出さず、収集日の朝に出す。
- 3 車庫や物置には鍵をかけるなど、簡単に出入りできないようにする。
- 4 屋外灯やセンサーライトで、夜間でも家の周りを明るくする。
- 5 ポストに新聞・郵便物をため込まない。
- 6 日頃からご近所同士のあいさつ、声掛けを行い、地域全体で放火されにくい環境をつくる。



GIFU CITY



【その他参考となるホームページ】

- NITE (製品評価技術基盤機構) 公式

YouTubeチャンネル

- 総務省消防庁

火災予防→「防火対策の推進等」のページ



住宅防火 いのちを守る10のポイント

【4つの習慣】

- ① **寝たばこ**は絶対にしない、させない。
- ② **ストーブ**の周りに**燃えやすいものを置かない**。
- ③ **こんろ**を使うときは**火のそばを離れない**。
- ④ **コンセント**のほこりを**清掃**し、
不必要な**プラグは抜く**。



住宅防火 いのちを守る10のポイント

【6つの対策】

- ①火災の発生を防ぐために、ストーブやこんろ等は**安全装置**の付いた機器を使用する。
- ②火災の早期発見のために、**住宅用火災警報器**を定期的に**点検**し、**10年**を目安に**交換**する。
- ③火災の拡大を防ぐために、部屋を**整理整頓**し、寝具、衣類及びカーテンは**防炎品**を使用する。



住宅防火 いのちを守る10のポイント

【6つの対策】

④火災を小さいうちに消すために、**消火器**等を設置し、使い方を確認しておく。

⑤お年寄りや身体の不自由な人は、**避難経路**と**避難方法**を常に確認し、備えておく。

⑥防火防災訓練への参加、戸別訪問などにより、**地域ぐるみの防火対策**を行う。



私たちの

思いやり

気配り

行動

が

高齢者、障がい者を火災から守ります。